

製品名: GPER ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11609**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	41kDa

抗原情報

遺伝子名	GPER CEPR CMKRL2 DRY12 GPR30
別名	
遺伝子 ID	2852.0
SwissProt ID	Q99527
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 300~380

背景

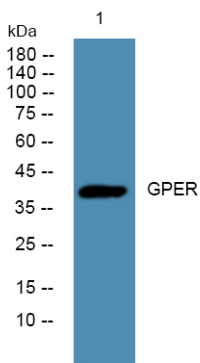
この遺伝子は G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属し、小胞体に局在する複数回膜貫通型タンパク質をコードしています。このタンパク質はエストロゲンと結合し、細胞内カルシウム動員と核内ホスファチジルイノシトール 3,4,5-トリスリン酸の合成を引き起こ

します。したがって、このタンパク質は、細胞や組織がエストロゲンで刺激された後に広く観察される、迅速な非ゲノムシグナル伝達において重要な役割を果たします。同じタンパク質をコードする代替転写スプライスバリエントが同定されています。[RefSeq 提供、2008年7月]機能: エストロゲン受容体,類似性: Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属する,細胞内局在: タンパク質は細胞膜、小胞体、ゴルジ体で検出されています。これが細胞表面受容体なのか細胞内受容体なのかは現在のところ不明である。組織特異性: 普遍的に発現するが、胎盤に最も多く存在する。脳領域では、前脳基底核、前頭皮質、視床、海馬、尾状核、被殻において2.8kbの転写産物として発現する。、

研究分野

-

画像データ



KB細胞溶解液のウェスタンブロット分析、GPERウサギポリクローナル抗体を1:1000に希釈し、4°で一晩